家庭奉仕員のボランティア募集

登録申込みは十月二十日まで

高齢化社会の到来に伴い、寝たきりのお年寄りをかかえ、家庭での介護に難儀されている家庭が増加しています。

このため市では、家庭奉仕員制度を設け、社会福祉協議会に委託して家庭介護のお手伝いを行っていますが、まだ十分とはいえません。そこで、新たにボランティアによる家庭奉仕員制度を設け、ボランティアを募集することになりました。その内容は、次のとおりです。

□…ボランティア奉仕員は登録制で、在宅の寝たきり老人の介助に奉仕します。

□…介助の奉仕を行うと一か月六時間を限度に、一時間当たり六百七十円の実費を支給します。

高齢化社会に対応した老人福祉を進めていくには、地域の連帯が欠かせません。多くの皆さんの登録をお願いします。登録を希望される方は、十月二十日までに社会福祉協議会（市役所分館☎24―8376）へお申し込みください。

戦傷病者の妻に改めて特別給付金を支給

戦傷病者等の妻に対する特別給付金支給法が改正され、戦傷病者の妻に、改めて特別給付金が支給されます。支給対象者は次のとおりです。

□…昭和六十一年十月一日に第五款症以上の増加恩給等を受けている戦傷病者の妻のうち、次に該当する人

・第六回特別給付金国債（額面三十万円または十五万円）の『い号』～『り号』を受けた妻

・第十一回特別給付金国債（額面二万円または一万円）の『い号』を受けた妻

・第八回特別給付金国債（額面五万円または二万五千円）の『ろ号』または『は号』を受けた妻

・第二回特別給付金国債（額面十万円または五万円）の『ぬ号』を受けた妻

□…昭和五十八年四月一日に第五款症以上の増加恩給等を受けていた戦傷病者の妻で、昭和五十四年四月二日（満州事変間の受傷り病者は昭和四十八年四月二日）以後じ後重症となった人の妻、または婚姻した妻

□…昭和六十一年五月十五日現在国債を償還中の妻で、昭和五十八年三月三十一日までに戦傷病者が平病死した人の妻（当該国債の償還終了後に支給されますので、受付開始の時期などについては、市社会福祉事務所へお問い合わせください）

■請求受付・問い合わせ…市社会福祉事務所福祉係（☎24―2111内線272）または戦傷病者相談員の村木勝美さん（神林鉄工所内☎22―2600）へ

消防設備士講習

消防法の規定に基づく消防設備士講習が、上の表のように実施されます。受講を希望される人は、お申し込みください。

受講の受付けは、十月六日から十一日まで、消防本部で行っています。くわしいことは、消防本部予防係（☎22―0175）へお問い合わせください。

消防設備士講習日程表

講習区分	講習日	講習会場
第3種	11／18	上越地域消防本部（上越市）
第3種	11／19	長岡商工会議所（長岡市）
第1種	11／20	新潟県中小企業会館（新潟市）
第5種	11／21	新潟県経営者協会（新潟市）
第3種	11／25	新潟県自治会館（新潟市）
第2種	11／27	電気工事会館（新潟市）
第4種	11／28	電気工事会館（新潟市）

青少年に関する相談は「教育相談」で

青少年育成相談センターでは、幼児から高校生くらいまでの悩みごとなどについて、相談を受け付けています。

■定期「教育相談」

♡とき…十月八日（水）、十五日（水）、二十二日（水）の午前九時三十分～午後四時

♡ところ…図書館

※定期相談日以外でも相談を受け付けています。くわしいことは、青少年育成相談センター（☎22―0204）へお問い合わせください。

■電話相談（専用電話）

♡とき…平日は、午前九時～午後四時（土曜日は正午まで、日曜、祭日は休みます）

♡電話番号…24―8888

なお、県の巡回相談も次のように行われます。

♡とき…十月二十四日（金）午後一時三十分～四時三十分

♡ところ…市教育委員会相談室（市役所分館、本町四）

♡相談指導者…江口松弘先生（前新潟市立東新潟中学校長）、野瀬吉栄先生（元新潟市立小針中学校長）、中島信子先生（元公立高等学校教諭）

♡申込み…十月十四日（火）までに各幼稚園、保育所、小学校、中学校または青少年育成相談センター（☎22―0204）へ

全国一斉に防犯運動が行われます

十月十一日から二十日までは、全国一斉に防犯運動が行われます。運動の重点は、「自動車盗その他の乗物盗の防止」、「侵入盗の防止」、「少年非行の防止」の三点です。期間中は一般住宅や駐車車両の防犯診断、有害環境の点検など、各種の防犯活動が行われます。各家庭でも次のことを実践してください。

・駐車車両は、キーの抜き取りとドアロックを

・家を留守にするときは、施錠とお隣りさんに一声を

高年齢者雇用促進月間にご協力を

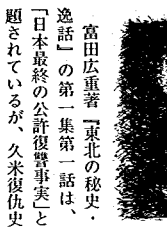
十月は、「高年齢者雇用促進月間」です。期間中、高齢者の雇用就業問題について、理解を深めてもらうため、各種の行事を展開します。皆さんのご協力をお願いします。

お買物、ご用命は市内で

毎度ありがとうございます
サロン内容 ☆美容全般
・ご婚礼着付　・ウエラ化粧品
・素肌の美しさを保つ（美顔）エステティック
・カバーマーク化粧品のエードサロンとして御奉仕
渡辺美容院　本町3　能代川寄りのウラ通り　☎(22)0626
ヘアーステーション わたなべ駅前店　本町1　☎(22)2611

内科・小児科・レントゲン科
大坂医院
新町1丁目6―12　TEL(24)5122

幕末明治夜話 (126)



富田広重著『東北の秘史・逸話』の第一集第一話は、「日本最終の公許復讐事実」と題されているが、久米復仇史談の一異説である。

この史談の内容は、久米復仇史談であり、之は久米復仇史談にしても、大正十三年刊『大和民族の精華』などと共に久米復仇史談の異説と考えられるもので、その特徴となっているものは、久米幸太郎の父の弥五兵衛に妾や妾腹の弥六という者があって、幸太郎の巡探三十年目の最後の段階に、今は石巻の梅渓寺の和尚となっている弥六と梅渓寺において邂逅し、それによって有力な敵討の手懸りを得、祝田浜において首尾よく本懐を遂げることになっており、右の梅渓寺における両者の邂逅は、この異説のクライマックスになっている処である。

したがって、この史談の発端の部にあっても、右の弥六の生母の出現や成り行きは、本史談の中にあっても、特に注意すべき処になっており、之については、既に「久米弥五兵衛の家庭」においてチラリと述べたので、その発展として「妾腹の子弥六の出家」「弥六の母の身の処置」の節を紹介してみよう。

異説四十一年目の敵討(Ⅲ)

阿達義雄

(七)妾腹の子弥六の出家

妾腹の子である三男弥六はどうなったか。弥六は、生母の手から離れて、腹違いの兄弟達と一緒に、養母の許に育てられていたのだが、兄の幸太郎や盛治郎が夫々良師に就いたということを聞いた弥六の生みの母である故人弥五兵衛の妾であった女が、正妻操の許に訪ねて来て、当年六歳になる弥六に向い、

「お身がまだ三歳の極月二十日の夜、お身の御父上様は、滝沢休右衛門という者のために欺し討に逢ってお果てなされた。

それでお身の兄様達は、お父上様の仇を討とうため、武芸の御稽古を始められた。

お身は、今から俗界を脱して出家となり、学問修業に精出して、天晴名僧智識となり、亡き御父上の菩提を弔わねばなりません」

生母の言葉に、まだ東西もよくわからない弥六は、

「私も武士の子、兄様達と一緒に剱術を習い、大きくなったら、お父上の仇を討ちたいが、母様の仰せとあれば仕方がありません。今から和尚さんになります。……」

大人も及ばぬ殊勝な言葉に、生みの母も養い親も涙に咽び、自分達の不運な身の上をかこち合った。

弥六の生みの母は、妾とはいい、故人弥五兵衛の淫らな劣情の相手になった女ではなく、正妻に子供はないものと思って、夫婦相談の上に、素性も身元も正しい女をと、索ねたのであるから、正妻操にも劣らない賢婦であった。

早速、菩提寺明光寺に連れて行き、住持に事の次第を告げて、ここに仏のみ弟子となり、名も亮道と改めて、幼い身を墨染の衣に包むことになった。

(八)弥六の母の身の処置

弥六を出家させた彼女は、正妻の操や、板倉留六郎などに身の振り方を相談した結果、永の暇を貰って、久米家とは表面絶縁の自由な身となった。

後に近在の百姓の女房となり、一人の男子をもうけたが、その子が成人の後、同じ血を分けた亮道和尚の行方を尋ね慕うて、仙台領牡鹿郡根岸村に至り、この村におちついて妻子を持ち、百姓していたが、幸太郎兄弟の仇討の際は、不思議な邂逅を遂げ、江戸や各地へ飛脚の役をつとめたという小説にもない事実があるが、これは後章に譲る。

〔附注〕

平凡な私などの考えからすると、弥六の母は、今度は妾などではなく、近在の百姓の女房となり男子までもうけているのだから、その子にその家の後を嗣ぐように仕向けるべきはずの処、未だ久米家との関係に拘われて、越後より遙かに離れた処の仙台領牡鹿郡などへ迄離してやるのが全く不思議なことである。

よく考えてみると、この女は、他日、幸太郎と亮道和尚の梅渓寺における邂逅や、祝田浜において敵討の本懐を遂げること見通しているような趣きがある。

というのは、初めから終わりまで、その名を明示しなかった、この弥六の生母が、幸太郎が本望を遂げ、新発田において一族親戚を呼んで祝賀の宴を張った時に、何処からともなく立派な尼となって現われてくるからである。

すなわち、本書の〈大団円〉の節を見ると、

「幸太郎は知己親族を招待して本願成就の大祝宴を催した時、幸太郎盛治郎兄弟の母が七十二歳の高齢、亮道和尚の生母であり弥五兵衛の妾であった女は薙髪して貞圓尼となっていたのが、この祝筵に列なった」

とある。

なお、調べてみると、本書より数年前に刊行され、本書の粉本となったと考えられる『大和民族の精華』の中の「弥六の出家得度」の条を見ると、弥六の生母も弥六と共に仏門に入ったことを次のように記している。

「弥五兵衛徳盛殿菩提の為めに尼になるべく決心した妾の松枝、黒髪を切り落し、身の出家よりも心の出家。遂には愛し兒弥六を伴ひて、久米家の菩提寺なる二光寺住職を訪れた。

住職は母子の至情を憐れみ、直ちに弥六の出家を許して、日を定め厳粛なる得度式は挙げられ、同時に良道と改名されたのである。

母の松枝も剃髪染衣の身となって貞圓と呼び、近効に草庵を結んで一生を念仏三昧に浄き日を送り、ひたすら久米弥五兵衛事、今は雪路院菩提の供養にいそしむのであった」

（新潟大学名誉教授）

お買物、ご用命は市内で

本町4 チューリップ店会 お店紹介

写真教室and撮影会

写真教室
日時　10月4日　PM6:00
会場　新津市図書館　2階視聴覚ホール
講師　弓納持　福　夫　氏
内容　スライドにより初歩からベテランまでの撮影テクニック
会費　500円
お願い　当日作品をお持ちの方は先生が講評して下さいます。（スライド・写真）
～～ 終了後は楽しみ抽選会をやります ～～

撮影会
日時　10月5日　AM 8:45　PM 16:00
集合　AM 8:45　カメラのサカヅメ
出発　AM 9:00
会費　5,000円（食事・飲物付き）
モデル　1名（秋良）

カメラのサカヅメ
新津市本町4丁目5―6　☎ 22―0045

＊参加者数は写真教室50名・撮影会30名でメ切り致します。